

第六類

物價對策、  
物品稅

0088

---

○購買名簿登録品ニ對スル價格統制ニ關スル  
件

昭和十一年二月八日  
佐野二副第六號佐經第二課長照會

海軍購買名簿登録者ニシテ名簿登録品ノ購買入札見積等ニ際シ生産統制ヲナセルモノト認  
メラルルモノニ對シテハ夫方重要産業統制法其ノ他立法ノ下ニ保護セラルルモノト雖モ海  
軍トシテ獨自ノ立場ヨリ之ガ對策ヲ講ゼラルル中央局ノ意嚮ニ就テハ特ニ確認ナキモ之ニ  
該當スルモノト認メラルルモノ有之候ハバ此ノ際取纏メ其ノ狀況本月末迄ニ御通知ヲ得  
度

追テ今後ノ分ニ對シテハ其ノ都度御通知相成度

物價對策、物品稅

七一

0089

物價對策、物品稅

七一

0090

## ○ 物價統制大綱

(全文)

昭和十四年六月二十七日

### 第一 物價政策ノ目標

#### 一、戰時物價問題解決ノ急務

支那事變ノ推移及長期建設ノ進展ニ對應スベキ戰時經濟ノ運営上特ニ現下最大ノ急務ハ生産力ノ擴充ト物價問題ノ解決トニ在リ、就中速ニ所要ノ對策ヲ講ジテ一定ノ物價基準ヲ確保スルニ非ズンバ一切ノ經濟國策ハ其ノ樞軸ヲ失ヒ遂ニ聖戰ノ目的達成ヲ期待スベカラサルニ至ルベシ蓋シ高物價ハ

- (イ) 輸出ヲ困難ナラシメ軍需及生産力擴充ニ緊要ナル物資ノ輸入力ヲ著シク減殺スベシ
- (ロ) 政府豫算ノ執行ヲ阻害シ軍需ノ充足ヲモ至難ナラシムヘシ
- (ハ) 國民貯蓄ノ意思ヲ根底ヨリ覆シ、公債政策ノ運行並ニ生産力擴充資金ノ調達ヲ不可能ナラシムヘシ

- (ニ) 生産力ノ擴充ヲ要スル事業ノ基礎ヲ脆弱ニシソノ經營ノ前途ヲ不安ナラシムヘシ
- (ホ) 國民生活ヲ危殆ニ陥ラシメ社會不安ヲ激成スヘク、既チ物價ニシテ一度ソノ安定ヲ失ヒ高騰ノ勢ヒラ激成スルニ於テハ收拾ノ途ナク、戰時經濟ハ混亂ニ陥ルベキヲ以テコノ際萬難ヲ排シテ抜本的對策ヲ斷行スルノ要アリ

物價對策、物品稅

物價對策、物品稅

二、綜合的物價對策ノ必要

政府ハ事變發生以來物價騰貴抑制ノタメ夙ニ應急的措置ヲ講ジ夫々效果ヲ舉ゲ來リタルモ、今後ノ事態ニ備ヘルタメニハ單ニ直接ニ物價現象ノミヲ制禦スルコトナク、根本的ニ財政經濟ノ新分野ニ亘リ綜合的對策ヲ確立セサルヘカラザルノ時期ニ到達セルモノト云フベシ、蓋シ物價ハ財政經濟ノ凡ユル部而ト密接ナル相互關聯ヲ有シソノ綜合點トシテ表ルルモノナルガ故ニ、應急對策ニオケルガ如ク單ニ直接ニ物價現象ヲ統制スルニ止マラズ、根本的ニ財政經濟ノ全分野即チ物資ノ生産、配給、消費、資金及勞力、運輸等ノ適合並ニ調整等ニ亘リ綜合的對策ノ確立ヲ實施セザルベカラズ、カカル綜合的對策ニヨツテノミ初メテ政府所期ノ目的タル長期建設ノ大業ヲ達成スベキヲ得ベキナリ、而シテ其ノ實行ニツイテハ政府ハ全機關ヲ舉ゲテ一層有機的ニソノ機能ヲ發揮スルト共ニ一般國民特ニ産業ニ従事スルモノガ戰時物價問題解決ノ重大性オヨビ根本對策ノ趣旨ヲ深く認識スルコトヲ緊要トシ、眞ニ官民一致ノ全面的努力ニ俟ツノ外ナシ

三、物價基準ノ決定

一、現下ノ物價統制ノ目的ハ現在ノ爲替相場ヲ堅持シツツ輸出ヲ増進シ生産ノ擴充、軍需ノ供給ニ異狀ナカラシムルト共ニ國民生活ノ安定ヲ圖リ戰時經濟ノ繁榮ヲ全

カラシムルニアリ、而シテコレガタメ我國國內物價ノ安定ヲ急務トシテソノ基準ハ國際物價ノ水準ニ照應シテ輸出ノ増進ヲ可能ナラシムルコトヲソノ目標トス

二、右基準ヲ具現スベキ價格ノ形式ニツイテハ凡ソ左ノ三點ヲ參酌シ現在ノ物價ヲ檢討シ極力コノ基準ニ到達セシムル様低下ヲ圖ルベキモノトス

(1) 輸入品ニ就テハ輸入價格ヲ基準トシ同種ノ國內生産品アル場合ニハ適當ナル調整ヲ加フ

(2) 輸出品ノ原材料等ニツイテハ當該輸出品ノ海外市場價格ヲ基礎トシ生産擴充ノ關係ヲ考慮シ適當ナル調整ヲ加フ

(3) ソノ他一般物品ニツイテハ軍需ノ充足、生産ノ擴充、國民生活ノ維持ヲ目途トシ兼ネテ輸出品原材料等ノ價格トノ均衡ヲ考慮ス

三、物價ヲ右基準ニ引下グルニ當リテハ製品並ニ原材料ノ價格公定等ノ一齋低下ヲ期スルノ要アリ、而シテコレガタメ特ニ過渡期ニ於テハ生産ノ減少ヲ招來スルノ虞ナキヲ保セザルヲ以テ企業相互關係ノ組織化各産業ノ經營ノ合理化及能率ノ統制等ト相俟テ極力生産費ノ低下ヲ計リ以テ生産減少ノ防止ニ努ムベキモノノ影響ノ過大ナルモノアル場合ニ於テハ之ヲ緩和スベキ補助對策ヲ併セ考慮スベキモノトス

物價對策、物品稅

第二 價格ノ公定

一定ノ物價基準ノ下ニ價格ヲ公定スルコトハ現下ノ物價統制施設ノ根幹ヲナスモノトシテ物價相互ノ牽聯性ニ鑑ミ能フ限り普遍的ニ公定價格ヲ形成スルヲ要ス而シテ此公定價格ハ戰時下ニ於テ適正トスル基準及法式ニヨリ算出シタル「戰時適正價格」タルベキモノトスベシ、ソノ要點左ノ如シ

一、價格ヲ公定スベキ品目ノ範圍及生産計畫

(1) 價格公定ノ範圍トシテハ原則トシテ戰時國民經濟ノ運営上特ニ必要ナル物即チ軍需資材ノ種別資材生産力擴充資材及戰時下ニ於ケル國民生活必需品ニ就テソノ品目ヲ選定スル等適當ナル考慮ヲ拂フコト即チ軍需資材、輸出資材、生産力擴充資材及戰時下ニ於ル國民生活必需品ニ就キノ品目ヲ選定スル等適正ナル考慮ヲ拂フコト

尙以上ノ品目ニ於テモソノ一般物價ニ及ボス影響ノ特ニ重大ナルモノニ就テハ其ノ物價統制ノ程度方法ニ就キ特別考慮ヲ拂フコト

(2) 價格公定ノ對象トナル品目ニ就テハ全体ノ價格形成上最モ重大ノ影響アル重要品

目ヲ先ニシテコレヲ考慮スル等ソノ着手スベキ順位ヲ定ムルコト

但シ後述ノ如ク各物價間ノ均衡ヲ期スルノ要アルヲ以テ物價ノ價格ヲ決定スルニ

當り相互關連性ヲ有スル物資アル場合ニ於テハ當該品目ニ就キシ、關連決定ヲスルノ方法ヲトル等考慮スルノ要アルコト

(8) 公定價格品ニ就テハ原則トシテ生産價格ヲ統制シ併セテソノ需<sub>ニ</sub>調整計畫ヲ確立シ原材料等ノ供給ヲ優先集中セシムル等ノ方法ニヨリ公定價格ノ確保ヲ期スルコト

## 二、公定價格品ト非公定價格品トノ調和

公定價格ノ決定ヲ見ザル品目ニ就キコレヲソノママ放置スルニ於テハ一般<sub>ニ</sub>物資不足ノ今日必然ニ當該商品及ソノ原材料等ノ價格ハ暴騰シ當業者ニ不當ノ利得ヲ與ヘ惹イテハ公正價格品ノ價格維持ヲ困難ナラシメル場合多カルベシ斯ノ如キ場合ニ於テハ左ノ如キ對策ヲ講ズルコト

1 非公定價格品ノ生産ニツキ原材料等ノ使用ヲ制限又ハ禁止ス

2 過大利得ニツキ賦課金等ノ方法ニヨリ適當ニ調製ス

3 戰時適正價格ノ決定

(一) 戰時適正價格ノ決定ニ就テハ所定ノ物價基準ニ照應スル原價計算ニヨルヲ原則トシソノ計算方策並ニ運用手續ヲ定ムルコト、而シテ各物資ノ價格ノ公定ニ就テハ右ニ準據シ原材料賃金、運賃、利潤等ノ公正ノ各要素毎ニ戰時下ニ於テ適

物價對策、物品稅



物價對策、物品稅

七八

正トスベキ原價計算ヲ行フコトノ場合ニ於テ機械的原價計算主義ニヨル時ハ或ハ物價ヲ高位ニ齊スノ傾向アルベキヲ以テ同時ニコレニ更ニ檢討ヲ加ヘ且ツ物價相互間ノ均衡ヲ考慮シ戰時物價基準ノ維持ニ努メルコト

(二) 原計算表ニ當リテハ中庸生産費主義ヲ以テ原則トスルモ特殊ノ場合ニ就テハ適當ナル調整ヲ加ヘルコト

(三) 價格公定後ニ於テ原價ニ或ル程度ヲ越ユル變化ヲ生ジタル場合ニハ一定ノ準則ニ基ツキンノ公定價格ヲ改訂スルコト

(四) 價格ノ公定ハ原則トシテ生産者乃至輸入者ヨリ最終消費者ニ至ル迄ノ各段階ニ於ケル價格ニ就キコレヲ行フコト

(五) 公定價格ハ最高價格トシ大量購入ノ場合ノ價格ノ如キハコレヨリ低位ニアルベキコト

「備 考」

一、戰時經濟ニ於テハ軍需並ニ生産力擴充ノタメニ國家經濟力ヲ優先集中セザルヲ得ザルモノナルモ、當然ノ歸結トシテ戰時下ニ於ケル國民生活ハ平時ノ生活程度ヲ極力切詰メ低下シテ健康ノ維持増進其他統後ノ國民活動ノ維持發展ヲ期スルニ必要ナル最小限度ニ甘ンゼザルベカラズ、依ツテ本大綱ニ於テ言

0096

フトコロノ國民生活ノ安定國民生活程度ノ維持、生活必需品、生計費等ノ意味ニ就テハ石ノ戰時的要求ヲ考慮シタルモノニヨルモノトス

二、戰時物價統制上必要ナル「戰時物價指數」其他ノ統計ヲ作製スルコト、蓋シ戰時物價對策ノ對照ハ主トシテ公定價格品ニアルヲ以テ物價指數モ亦コレニ適合スルヤウ公定價格品及非公定價格品ノ區別ニ從ヒ作製スルヲ要ス尙金品指數生計費指數等ニ就テモ同様ノ考慮ヲ加フベキモノトス

三、價格統制ノ目的ヲ達スルヲ得ベキ時ハ必ズシテモ法律上ノ公定ニ依ラザル場合アルベキコト、尙運賃賃金其他ニ就テモ之ニ準ズルモノトス

### 第三 需要供給ノ調整

#### 一、需給調整ニ關スル諸對策及其ノ連繫

物價騰貴ノ根本原因ハ物資需給ノ現實ノ跛行狀態ニアルヲ以テ物價對策ハ需給ノ調整ニ重點ヲ置カザルベカラズ而シテ既ニ物資動員計畫、物資原材料ノ配給調整等ノ外臨時資金調整法ノ運用及國民貯蓄獎勵運動其他金融ニ關スル對策等實施セラレルトコロナレドモコノ際物價統制ノ目的ヲ貫徹スルタメノ各種ノ對策相互間ニ一層密接ナル聯携ヲ圖ルハ勿論物資及資金ノ需給ニツキ根本的計畫ヲ樹立シ、需給適合ノ完璧ヲ期スルノ要アリ、特ニ注意スベキ點左ノ如シ

物價對策、物品稅

物價對策、物品稅

八〇

1 昭和十四年度ノ物資動員計畫ニツイテハコレガ勵行ヲ期シ且ツ其ノ運用ニ當リテハ季節的時期的調整ヲ行フト共ニ特ニ事情ノ變化ニ則應シテ適宜調整ヲ加ヘルコト

2 昭和十四年度豫算ハ物資動員計畫ニ即應シテ決定セラレタルモノナルモ、之ガ實行ニ當リテハ物資動員計畫及物資需給調整計畫ノ運用ト密接ナル連繫ヲ保持シ物資需給ノ實狀ニ適合セシムルコト

3 昭和十五年度以降ノ物資動員計畫ノ樹立並ニ政府ハ豫算ノ編成ニツイテモ各般ノ事情ヲ考慮シ物資並ニ努力活用ニ付最大能力ノ發揮ヲ期スルト共ニ實行可能ノ限度ニツイテ正確ナル見透シヲ樹テルコト

4 物資動員計畫以外ノ物資ニツイテモ必要ニ應ジソノ需給ノ調整ニツキ適切ナル計畫ヲ樹ツルコト

二、供給ノ調整

供給ノ確保ニ關シテハ既ニ第六回中央物價委員會答申ノ如ク生産ノ増大、輸入力ノ増進、代用品ノ奨勵、廢品又ハ不要貯藏品ノ利用ヲ圖ル等ノ方策ヲ必要トスルハ勿論特ニ近時輸出ノ減退ハ輸入力ノ減少ヲ來シ居ルニ鑑ミ輸入ノ振興ニツキ一段ノ努力ヲ拂フ必要アルトコロ、尙左記ニヨリ供給調整ノ徹底ヲ期スベシ

0098

1 此ノ際凡ル物資ノ需給ヲ増加スルコトハ生産能力ガ特ニ必要ナルヲ以テ原價特ニ必要ナル物資ノ生産力ヲ極力集中セシメル要アリ、之ガ爲必要ノ場合ハ戦時下ニ於テ比較的不急不要ノ品目ニツキ其ノ生産制限又ハ禁止ヲナス

2 價格ノ引上げニヨツテ生産ノ増加ヲ圖ル方策ハ戦時經濟ノ運行ノ大局ヨリ見て眞ニ已ムヲ得ザル場合ノ他ハ之ヲ排除シ専ラ經營ノ合理化並ニ能率ノ統制及増進等ニヨリ生産増大ノ目的ヲ達スルニ努メ猶必要アル場合ニ於テハ例ヘハ左ノ如キ方策ヲトルコト

(イ) プール制ニヨリ平準價格ヲ採用スルコト

(ロ) 將來ノ危險ニ對スル企業採算ヲ調整スル適當ナル方法ヲ講ズルコト

(ハ) 已ムヲ得ザル場合ニ於テハ補助金其他ノ方法ヲ執ルコト

3 右經營ノ合理化並ニ勞力ノ統制及増進等ノ戦時下經濟ニ於ケル重要性ニ鑑ミコレガ具体的方策ヲ樹テ其ノ實行ヲ期スルコト

4 生産力擴充計畫實施ニ當リテハ物資並ニ勞力ニツキ全体的ニモ季節的ニモ供給可能力トノ調和ニ於テコレヲ行ヒ所與ノ物資並ニ勞力ヲ極力能率的ニ利用シテ生産ノ増大ヲ期スルコト

5 生産力ノ擴充計畫ノ凡ユル物資例ヘバ食料品其他ニツイテモ適當ナル増産計畫ニ

物價對策、物品稅

ヨリソノ供給ヲ確保スルコト

三、需要ノ調整

現下ノ狀勢ニ於テハ供給ノ増大ニハ自ラ限度アルヲ以テ需給調整ノ主眼點ハコレヲ需  
要ノ方面ニオクノ必要アリ、即チ左ノ如シ

(一) 政府豫算又ハ生産擴充等ニ基ク需要ノ調整

1 政府ノ消費等ニ物資ノ大量の需要ヲ件フ軍事費ノ使用ニ當リテハ其ノ時間的地理  
的調整ニ注意シ發註及納期等ニツキ一層適切ナル調整ヲ加ヘルコト

2 地方團體ソノ他ノ團體ノ消費ニツイテモ物資ノ需給狀況トノ調和ヲ留意シ適當ナ  
ル具體策ヲ講ズルコト

3 臨時資金調整法ノ適用ニ當リテハ單ニ企業ノ性質ノミナラズ特ニ其ノ企業ニ必要  
ナル物資ノ需給力ヲ勘案シテソノ許否ヲ決スルコトトシ尙物資需給ノ時間的調整  
ニツイテモ留意スルコト

(二) 一般民需ノ調整

一般民需ノ調整ニツイテハ第四回中央物價委員會ニ於テ消費ノ節約消費ノ合理化購  
買力ノ擴充消費節約ニ件フ打撃ヲ緩和等々既ニ詳細ナル答申アリタルガ、此ノ際特  
ニ左ノ事項ニツキソノ對策ノ完璧ヲ期スルコト

1 一般購買力ノ調整

後述ノ如キ法律ニヨル物資ノ個別的消費規正ハ技術上相當複雑ニシテ國民ノ日常生活ニ多大ノ煩累ヲ及ボスベキト同時ニ若シ一般購買力ノ吸收ニシテ徹底的ニ實現ヲ期スルヲ得バ右ノ煩累ヲ避ケ得ル場合多カルベキガ故ニ特ニ此ノ際一般購買力ノ吸收ニ全力ヲ傾倒スルコト肝要ナリ

(イ)貯蓄ハ購買力吸收ノ最モ適切有効ナル基本的手段トシテ從來國民ノ協力ニヨリ

ソノ施設見ルベキモノアルモコノ際物價對策ノ見地ヨリ國民各層就中股販產業方面等ニ對シ最大限度ノ貯蓄ヲナサシムルタメ具体的方策ヲナサシムルコト

(ロ)今後ノ統制改正ニ當リテハ購買力調整ニツキ考慮スルコト

(ハ)保險ソノ他ノ專業ニヨリ國民購買力ノ吸收ヲ圖ルコト

(ニ)政府及公共團體等ニ於ケル一般の増俸ハコノ際之ヲ差控へ必要ナル場合ニ於テハ福利施設等ニツキ考慮スルコト

2 消費ノ合理化及節約ノ具体案確立並ニソノ勵行、物資消費ノ合理化及節約方法ニツキ各品目ニ亘リ物資動員計畫等物資配給ノ狀況ニ即應シテコノ消費節約ノ必需程度ヲ明確ニシ、國民ヲ指導スベキ具体案ヲ確立シテソノ趣旨ヲ徹底セシメ個人ノ家庭ノ消費ハ勿論、法人團體ノ抑制ニツキコノ際徹底的措置ヲ講ズルコト、特

物價對策、物品稅

物價對策、物品稅

ニ政府及公共團體ハ右ニツキ率先垂範ノ實ヲ示スコト

3 物資ノ個別的消費規正、物資動員計畫内ノ物資ニツイテハ該計畫ニ即應シ、又右以外ノ物資ニツイテモ適切ナル需給ノ見透シヲ立テタル上戰時下ニ於テ忍ビ得ベキ比較的不急不要ノ物資ニツイテハ各品目ニ對シ法律上ノ消費制限乃至禁止ヲナシ以テ國民消費ノ規正ヲ斷行スルコト

(四) 配給ノ調整ニツイテハ既ニ第六回中央物價委員會ニ於テ當業者ノ組織化、買占、賣惜並ニ買溜ノ防止、配給ノ完備、數量割當又ハ切符配給制度ノ採用配給ノ低減等ノ諸方策ヲ答申シタルトコロナルガ、更ニ後述ノ運輸ニ關スル統制對策ヲ實施スルト共ニコレニヨリソノ徹底ヲ期スヘシ

1 當業者ノ組織化連絡機關ノ設置等ハコノ際コレヲ擴充強化シ生産者問屋及小賣業者等ノ配給系統並ニソノ分野ヲ規正シ配給機構ヲ合理化スルコト

2 在庫品ノ動員利用ヲ計リ在荷ノ制限賣渡シノ命令ナドニツイテモ考慮スルコト

3 物價騰貴ヲ招來スルカ如キ思惑及買溜メニツイテモ徹底的ニ取締方法ヲ講ズルコト

4 金融關係ニ於テモ思惑資金ノ融通ノ如キハ嚴ニコレヲ抑止スルコト

第四 生産費構成要素ノ調整

戰時適正價格ノ形成ヲ緊要トスル段階ニ於テハ單ニ物價ヲ公定スルニ止ラズ其ノ原價ヲ適正ニ形成スベキ方策ヲ執ルニ非ズンバ物價對策ハ到底其ノ目的ヲ達シ得ザルモノトイハザルベカラズ、而シテ生産費ノ構成要素ヲナスモノ即チ原料資材ノ外賃金、運賃及商品價格ノ形成要素タル利潤並ニコレ等ト相當程度ノ關聯性ヲ有スル家賃、地代等ニ對シテモ前掲ノ物價對策ソノモノニ照應セル根本對策ヲ講ズルコト肝要ナリ

#### 一、賃 金

戰時適正物價形成上必要トスル賃金對策ノ主眼目ハ必ズシモ從業者各個ノ所得ソノモノヲ制限スルノ主旨ニ非ズシテ賃金ガ價格ニ及ボス影響ヲ考慮シ生産費中ニ含マルル賃金總額ノ適正低下ヲ期スルニアリ、從ツテ左記ノ賃金規正ノ目的ヲ達成スルニ當リテハ能フ限り就業者ノ生産能率ノ増進ヲ圖ルベキモノトス

(1)各種ノ職種ニ適應セル戰時適正賃金標準ヲ定メコレニ準據スルコト

(2)右賃金標準ハ物價並ニ利潤標準ニ照應スルト共ニ生計費ニ重要ナル考慮ヲ須ヒテ決定スルコト

(3)右標準賃金ノ維持ニツイテハ勞力需給ノ調整ヲ併セ實施スルコト

(4)給料等ニツイテモ賃金ニ準ズルコト

#### 二、運 賃

物價對策、物品稅



運賃其ノ他ノ運送費ハ物價構成上重要要素ナルノミナラズ物資ノ需給ヲ調整シソノ配給ヲ適正ナラシムルタメニハ海陸運送ノ圓滑ナル運營ヲ必要トスルモノナルニ鑑ミ此ノ際海陸運送ノ統制アル運營ヲ期スルト共ニ運賃等ノ合理的規正ヲナスコト極メテ肝要ナリ

(1) 戰時物價基準ノ目標ニ照應シテ運賃其他ノ運送費ヲ公定スルコト

(2) 生産力擴充計畫ニ即應セル運送力ノ擴充ヲ極力促進セシムル要アルト共ニ、其ノ促進對策トシテ高運賃政策ヲトルコトハ此ノ際物價政策ノ根本方針ニ矛盾スルヲ以テ戰時經濟運行ノ大局ヨリ見テ眞ニ已ムヲ得ザル場合ノ外コレヲ避ケ必要ノ場合ニハ他ノ對策ヲ講ズルコト

(3) 右公定運賃等ノ確保ニツイテハ運送料ヲ運輸能力ノ範圍ニ適當ニ調整スルコト必要ナリ、ソノ方法トシテハ例ヘバ左記ノ如キ手段ヲ講ズルコト

(イ) 運送ノ順位ヲ定メ重要物資ノ優先的運送ヲ計ルト共ニ不急不要ノ物資ノ運送ハコレヲ制限スルコト

(ロ) 思惑取引ニ基ク物資ノ運送ハコレヲ抑止スルコト

(ハ) 交錯及重複運送ヲ規正スル方策ヲ取ルコト

(ニ) 運送量ヲ季節的ニ調整スルコト

(ホ)工場設置ノ場所ニツイテハ可及的運送力ヲ節約シ得ルヤウコレヲ調整スルタメ適當ノ對策ヲ講ズルコト

(4)前記各種方策ヲ實施スルタメニハ海陸ヲ通ジ各般ノ運輸機關ニ對シ一元の統制機構ヲ確立シテ輸送力ノ綜合的運用ヲナシソノ最大能率ヲ發揮セシメルコト

### 三、利 潤

戰時適正物價形成上必要トスル利潤對策ノ主眼目ハ必ズシモ各個ノ企業經營ノ利潤率ノモノヲ直接制限スルノ趣旨ニ非ズシテ利潤ガ價格ニ及ボス影響ヲ考慮シテ商品價格中ニ含マレル利潤ノ適正低下ヲ期スルニアリ

1 物價其他ノ公定ニツイテハ夫々當該商品價格中ニ含マレル生産者、配給者等ノ利潤ニツキ各種ノ業態ニ適應セル戰時適正標準ヲ定メコレニ準據スルコト

2 右利潤ノ算定標準ニツイテハ物價並ニ賃金ノ標準ニ照應スルト共ニ戰時特殊ノ危険率、減價銷却等ニツキ合理的考慮ヲ用ヒルコト

### 四、家賃地代等

戰時適正物價ノ確立ヲ確保スル目標ノ下ニ家賃、地代等ヲ合理的ニ規正スルコト

## 第五 物價統制ノ勵行其他

### 一、物價統償ノ勵行

物價對策、物品稅

物價對策、物品稅

1 戰時經濟ノ下ニ於テハ政府ノ物資購買ハ物價ノ大勢ヲ支配スルモノナルニ鑑ミ、政府ハ其ノ購入ニ當リソノ單價ノ適正ナル調整ニ特ニ留意シ實踐ヲ以テ物價統制ノ勵行ニツキ國民ニ範ヲ垂ルルノ必要アリ

二、内地外地滿洲及支那ノ連絡

外地、滿洲及支那ハ内地ト爲替水準ヲ共通ニシ共同的經濟ヲ構成スルモノニシテ、就中物價ノ如キハソノ相互間ニ影響ノ波及スルトコロ甚大ナルニ鑑ミコレ等ノ各地ニ於ケル物價統制ニツキ左ノ如ク緊密ナル連絡調整ヲ圖ルノ要アリ、差當リ内地及滿洲相互間ノ關係ニ於テ特ニ急務トスベシ

1 關係各地域ニ於ケル物價統制ニ關スル機構ヲ整備、充實シソノ機能ヲ擴大強化シ共同ノ一定物價基準ヲ確保スル目的ノ下ニ外地、滿洲等ノ物價對策ニツキ更ニソノ徹底ヲ期シ且相互ノ連絡ヲ緊密ナラシムルコト

2 物資ノ需給調整ニツキ各地區當局間ノ協調ヲ一層緊密ナラシムルコト

三、物價統制機構

物價統制ノ内容ハ廣汎且多方面ニ亘リテ相關關係ヲ有シソノ實効ヲ收ムルタメニハ綜合的、統一ノ運用ヲ絕對ニ必要トスルヲ以テ官民各關係機關ノ整備及相互ノ緊密ナル連絡協調ヲ圖ルノ要アリ、殊ニ左ノ諸點ニツキ留意スルコト

一、戰時ニ於ケル物價統制ノ絕對必要性並ニ其ノ國民經濟及私生活ニ及ボス效果、影響及物價統制ノ趣旨、内容等國民各層ニ徹底理解セシムルト共ニソノ協力ヲ求ムル要アリ、右ニツキ考慮セラレル諸點次ノ如シ

(1) 當業者ニ對シテハ特ニ統制施設ノ趣旨、内容及其ノ絕對必要ナル事情ヲ十分ニ會得セシムヘキ方策ヲ講ジ官廳、民間當業者ノ團體ヲシテ之ニ當ラシムルコト  
(2) 一般消費ニ對シテハ政府ハ固ヨリ國民精神總動員聯盟其他民間團體、言論機關等ニ於テ一層ノ努力ヲナスコト

(3) 統制ニ關スル法規ヲ成ルベク單純ナラシメ又官報、週報等ノ利用ニヨリ具體的事項ヲ實際的ニ速カニ全國民ニ周知セシムル方法ヲ執ルコト

二、物資統制諸對策ノ實施ヲ圓滑ニシ且ツソノ實効ヲ明カニスルタメ物價統制視察制度ヲ設ケ民間諸團體ヲシテコレニ協力セシメルト共ニ進ンデ民意ヲ聽取シ統制方策ノ進歩、改善ヲ圖ルニ適當ナル常設機關ヲ置クノ要アリ

三、現行罰則規定ノ勵行ト共ニ更ニ適切ナル制裁制度ノ攻究ヲ期スルノ外一方民間團體等ニ於ケル自發的制裁方法ニツキ攻究セシムルノ要アリ

四、物價統制ハ國民各層ガ相當ノ犧牲ヲ負擔スルコトニヨリ遂行セラルルモノナルヲ以テ政府並ニ民間ニ於ケル指導的地位ニアル者ノ物心兩方面ニ於ケル率先的實踐

物價對策、物品稅

躬行ハコノ際特ニ必要ナリ

- (1)事務ノ複雑増大ニ備ヘルタメ關係機關ヲ擴充シ且各官廳間ノ一層緊密ナル共同動作ニヨリ中央物價委員會ノ機能ト相俟ツテ決定案件ノ實施ヲ齊整迅速ナラシムルコト
- (2)中央地方相互間ニ於ケル物價統制ニ關スル官廳及委員會等ノ統制連絡ヲ整備スルコト
- (3)政府ハ民間經濟機構ノ物價統制ニ關スル協力事項ヲ定メ此等ノ機關トノ間ニ緊密ナル連絡ヲ保ツコト

#### 四、物價統制ノ影響ニ對スル措置附記

政府ハ物價統制ニ件フ經濟的影響ニ對應スルタメ別途適當ナル方策ヲ講ズルノ要アリ、ソノ主ナルモノ次ノ如クナルベシ

- (1)賃金ノ統制ヨリ従業員ガ將來ニ備ヘル餘力ヲ減殺スルガ如キ場合ニ對シ失業、老後保險等ニ關スル方策ヲ講ズルコト
- (2)物價統制ノ結果生産者乃至ハ問屋、小賣商ニ及ボスコトアルベキ經濟的影響ニツキ對策ヲ講ズルコト

#### 附 記

本大綱ニヨル價格ノ公定其他ノ諸方策ノ實施ニツイテハ急速ニコレヲ實行スルヲ要スルト

雖モ事實上相當日時ヲ要スルモノアルベキヲ以テ差當リ左ノ經過的取扱ヲナス

1 價格ノ公定ニツイテハ差當リ必要ト認ムル品目ヲ從來ノ手續キニヨリ遲滯ナクコレヲ實  
施スルコト

本大綱ニ基ツク原價計算方法等ニヨラズシテ定メタル公定價格ハ他日コレヲ檢討シタル  
上右方法ニ準據シコレヲ改訂スルコトアルベキコト

2 需要ノ制限等ニツイテハ本大綱ニ基ク諸制度ノ實施前ト雖モ當該諸官廳ニ於テ速ニ適當  
ナル措置ヲトルコト

物價對策、物品稅

物價對策、物品稅

---

九二

0110

---

○九、一八價格ヲ超ユル價格ニテ契約スル場  
合ノ件

昭和十五年一月二十日佐經  
第一號ノ三一經理部長照會

契約擔任官ニテ公定價格ナキモノニ關シ九、一八價格ヲ超ユル價格ニテ契約ヲ爲サントス  
ルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受クル爲商人ヨリ申請書ヲ出サシメ契約擔任官其ノ値上ノ已ム  
ヲ得ザル事由ヲ與書朱書シ當部ヲ經テ海軍省經理局長ニ提出スルコトニ致度  
追テ右ノ場合ニ於ケル行政官廳ハ軍機保護法ノ物件ナレバ海軍大臣然ラザル場合ハ主務  
大臣ニ付爲念申添候

物價對策、物品稅

九三

0111



物價對策、物品稅

---

九四

0112

---

○ 價格統制令ニ關スル件

昭和十五年三月二十九日  
海軍省告示第九號

價格等統制令第十五條第七號ノ規定ニ依リ同令第二條ニ規定スル事項ニ付海軍大臣ノ許可ヲ受クベキモノハ海軍ニ納入セラルベキ兵器、彈藥、艦船、其ノ部分品及其ノ機密規格有ル材料ニ限ル

前項ノ許可ノ申請ハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 契約當事者ノ一方ガ海軍ナル場合ニハ別記様式第一ニ依リ契約擔任官申請ヲ爲スコト
- 二 前號以外ノ場合ニハ別記様式第二ニ依リ價格等ノ支拂者直接申請ヲ爲スコト

物價對策、物品稅

九五

0113

様式第一

昭和 年 月 日

海軍大臣宛

契約擔任官 職 氏 名 印

價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請

品名	數量	單價	契約豫定者	指定期日ニ於ケル單價	上記ノ單價ヲ超ユル事由
----	----	----	-------	------------	-------------

様式第二

昭和 年 月 日

海軍大臣宛

價格等ノ支拂者 何 某 印

價格等統制令第二條第一項但書ニ依ル許可申請

品名	數量	單價	海軍關係廳	價格等ノ受領者	指定期日ニ於ケル單價	上記ノ單價ヲ超ユル事由
----	----	----	-------	---------	------------	-------------

0114

備考

海軍關係應欄ニハ本申請ガ海軍ノ命令又ハ契約ニ基ク場合其ノ海軍ノ命令應又ハ契約應  
記載スルモノトス

物價對策、物品稅

九七

0115

物價對策、物品稅

---

九八

0116

---

○ 價格統制令ノ制限ヲ超ユル價格ニ依リ爲サ  
ントスル契約ニ關スル件

昭和十五年五月二十五日  
經物第四四號經理局長通牒

別表第一及第二ノ指示物品ヲ當該表ノ海軍官衙ニ於テ價格等統制令ノ制限ヲ超ユル價格ニ依リ購入セントスル場合左記ニ據ラルトキハ地方長官ニ於テ特ニ迅速ニ許可相成ルベキコトニ關係各省ト協議濟ニ付可然取計相成度

記

- 一 納入者又ハ納入物品ノ賣買當事者ヲシテ價格等統制令第二條第一項但書又ハ第七條第一項但書ノ許可ノ申請ヲ爲サシムルコト
- 一 海軍官衙ノ證明書發給官ニ於テ前號ノ申請書ニ對シ左ノ事項ノ證明書ヲ添附シ又ハ與書ヲ爲スコト
- 一 當該物品ハ海軍ガ購入スルモノナルコト
- 一 其價格ガ適當ナルコト

物價對策、物品稅

0117

別表 第一

指 示 物 品

精製古木綿、 古木綿、木綿屑	黒綾木綿、生厚木綿	木綿平織、厚織布
各種織物ノ古切類	紺小倉、葛城織	綿帆布、ガーゼ
糸屑、小幅木綿、廣幅木綿	晒薄綾木綿、薄綾木綿	白綿フランネル、雲齊
金巾、軍用木綿製品	綾木綿、晒木綿、晒木綿縮	綿蕊地、パーバリー
羽二重（純絹）	生木綿、粗布、キヤラコ	ポプリン、ギヤバチン
	天竺木綿、綿繻子、	硬化油

0118

別表第二

指 示 物 品

漬物類、乾野菜類 推茸、凍豆腐 麵類、罐詰類 冷凍魚介類、鹽干類	佃煮、海藻類 燕麥、壓搾馬糧 干草、藁、豆類 茶、肉類（冷凍肉類ヲ除ク）	穀穀、鋸屑 木材類（軍ト協議決定シタル價 格アル材種ヲ除ク）
---	---	--------------------------------------

物價對策、物品稅

101

0119



別紙

海軍省經理局	○局長	海軍航空技術廠	會計部長
海軍省經理局	○局長	海軍航空技術廠支廠	會計部長
水路部	會計部長	海軍航空廠	會計部長
海軍技術研究所	會計部長	海軍航空廠支廠	首席主計科士官タル廠員
海軍經理部	○部長	海軍火藥廠	會計部長又ハ會計課長
海軍經理部支部	○支部長	海軍燃料廠	會計部長又ハ會計課長
海軍軍需部	○會計課長	海軍療品廠	會計部長
海軍施設部	會計課長	海軍衣糧廠	○會計部長
海軍病院	院長	馬公海軍工作部	首席主計科士官タル部員
海軍工廠	會計部長		

備考 ○印以外ノモノハ別表第一ノ物品及木材類ニ付テノミ證明書ヲ發給スルモノトス

別表第二ノ物品ニ就テハ證明書發給前ニ其ノ品種、價格等ヲ海軍省經理局ニ通知ノコト

○ 價格統制令第二條第一項但書及第七條第一項但書ニ依ル許可申請書ニ關スル件

昭和十五年六月十四日  
佐經第一號ノ二三〇經理部長照會

首題ノ件ニ關シ申請ヲナス場合ハ當部ヲ經由ノ事ニ致度尙申請書中ニハ公定價格竝ニ其ノ品名番號(公定價格ナキモノニ在リテハ九、一八價格)ヲ掲記ノコトニ取扱相成度

(註) 一、公定價格中ニハ協定價格モ含ム議ト了知相成度

二、品名番號中品名ハ該當品名ノ細目ヲ充當番號ハ告示番號ヲ云フ

例 商工省告示第二八一號「マツチ」家庭用マツチ小型一個圓〇一五

物價對策、物品稅

一〇三

0121

物價對策、物品稅

104

0122

○ 註文品ノ價格等表示義務除外方ニ關スル件

昭和十五年十二月十八日  
統物第八六號 經理局長通牒

首題ノ件ニ關シ過般來主務當局ト協議中ナリシ處今般別紙寫ノ通牒發布有之候ニ付御了  
知相成度

(別紙)

昭和十五年十二月十四日物一第二八二四號

暴利行爲等取締規則第二條第一項ノ規定ニ依リ價格等統制令ノ適用ヲ受クル物品ヲ販賣ス  
ル者ハ物品ノ價格及停止價格品、公定價格品等ノ表示ヲ爲スベキナルトコロ、特別ノ註文  
ニ依リ製造シタル物品ヲ當該註文者ニ販賣スル場合(例ヘバ軍ノ註文ニ基ク電線ヲ軍ニ販  
賣スル如キ場合)ニ在リテハ暴利行爲等取締規則第二條第一項但書ノ規定ニ依リ價格及停  
止價格品等様式一表示義務ヲ免除セララルル様可然御取計相成度此段及通牒候也

物價對策、物品稅

一〇五

0123

物價對策、物品稅

106

0124

○ 物品税ノ取扱ニ關スル件

昭和十六年十二月十日佐經二調第六四號佐經  
理部第二課長ヨリ關係各廳契約主任官宛通知

今般法律第八八號ヲ以テ物品税法第二條税率改正相成タルモ熊本稅務監督局管下ニ限り物  
品税法施行規則第二十六條ノ取扱振ハ左記ニ依リ處理可然コト從來通ニ有之候

記

一、軍ニ於テ機械用又ハ工業用ニ供スルモノナルコトヲ證明シタルモノハ免除セララル

(註) 各受註者ハ課税免除申請書ニ右證明書ノ正本ヲ添付シ稅務署ニ提出スルモノト  
ス

二、前記以外ハ總テ規定通り課税セラル(應用、事務用品ノ如キハ之ニ該ル)

(註) 新税率額ヲ見積並ニ豫量等ニ計上スベキモノナリ

(別紙參考摘要添)

(別紙)

○ 支那事變特別税ニ關スル交渉應答摘要

一、昭和十四年一月二十一日佐廠會第七四號ノ一一佐廠會計部長ヨリ熊本稅務監督局長宛

照會要旨

物價對策、物品税

107

0125

物價對策、物品稅

會計部長出張交渉ノ結果熊本稅務監督局管内ニ限り工廠工業用ニ使用スルモノナリトノ證明書ヲ發註ノ際受註者ニ交付スレバ該品ニ對シテハ免稅ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

二、昭和十四年一月中前記交渉ニ依リ熊本稅務監督局ヨリ左記要旨ノ電話指令ヲ管下各稅務署ニ發令セラレアル筈

- (イ) 佐世保海軍工廠ノ製作註文ニ係ル一定規格ノ物品中工廠其ノ他海軍ノ作業場ニ專用サルル棚類、箱類等ノ如キモノニシテ事務用以外ニ使用スル物品ニ限り之ヲ家具トシテ取扱ハサルコト
- (ロ) 既ニ納入ノ物品ニ就テモ此ノ趣旨ニ依リ取扱フコト
- (ハ) 工廠ニ於テハ事務用以外ニ使用スル物品ニ就テハ其ノ證明書ニ註文設計圖ヲ添付ス

○ 物品税ノ取扱ニ關スル件

昭和十六年十二月三十日 佐經二關第六八號 佐  
知 經理部第二課長ヨリ關係各廳契約主任官宛通

本件ニ關シテハ 彙ニ佐經二調第六四號ヲ以テ通知致置候處爾今左記ニ就キ特ニ留意相成度

記

- 一 證明書ノ交付ハ發註ノ際行フコト
- 一 免除申請ニ際シテハ必ズ證明書正本ヲ添付シ稅務署ニ提出方受註者ニ徹底セシムルコト
- 一 前二號ニ依ル證明書ノ交付並ニ稅務署ヘノ提出ハ取纏ムルコトナク發註番號毎ニ迅速確實ニ之ヲ爲スコト

物價對策、物品税



物價對策、物品稅

110

0128

○ 契約價格對策處理要領ニ關スル件

昭和十七年四月六日經物機密第五號海軍省經理局長ヨリ關係各廳長宛通牒

官房機密第四二三八號ニ依ル首題處理要領ニ付テハ左記ニ依リ實施相成度

記

一 生産ノ増強ト低物價ノ堅持トハ戰時經濟ノ運營ニ當リ、最モ緊要トスル所殊ニ生産増強ノ主目標ガ軍需品ニ在ルコト及軍需品價格ガ一般物價ニ及ボス影響ノ甚大ナルコトニ鑑ミ、今後ノ契約價格對策ニハ一段ノ工夫ヲ要スル所ニシテ、一般的ニハ價格ノ昂騰ハ極力抑制スルト共ニ生産ノ増強ノ爲ト必要アル場合ニハ從前ノ價格ニ付適當ノ是正ヲ行ヒ、又經營ノ合理化ニ因ル生産諸費ノ引下ニ付テハ一層ノ指導ヲ爲シ、以テ戰時下低物價生産増強價格對策ノ要諦ニ間然スル所無キガ如ク處理スルコト

而シテ右ノ趣旨ヲ達成センガ爲ニハ統制アル處理振ヲ爲スコト肝要ナレバ各部門ノ連絡ヲ一層密ニシ、地方ニ於テハ經理部ヲ中心ニ、更ニ經理局ニ於テ綜合指導スル如ク運用致度

二 昭和十七年七月以降各廳（艦船及戰域所在各廳ヲ除ク以下同ジ）ニ於ケル契約ニシテ同年三月末日以前最近ノ價格以下ニテ決定シ難キモノアルトキハ契約擔任官ハ事由ヲ

物價對策、物品稅

0129

物價對策、物品稅

一一三

- 具シ所管經理部長ノ承認ヲ受クルコト但シ公定價格ノ範圍内ナルトキハ之ヲ要セザル  
モ所謂公定價格ハ最高販賣價格ナルニ鑑ミ價格決定ニ當リテハ慎重ニ處理スルコト  
前項ニ依ル承認ノ手續ハ出來得ル限り簡略ニスルノ外經理部長ニ於テ契約金額一定額  
以下ノモノハ事後承認又ハ承認省略等適當ニ處理シ差支ナキコト
- 三 各廳契約擔任官不當ニ價格ヲ吊上タリト認ムルモノアルトキハ其ノ都度將來ノ對策ニ  
關スル意見ヲ附シ速ニ所管經理部長ヲ經テ經理局長ニ通報スルコト
- 四 經理部長ハ別紙様式ニ依リ毎年度契約價格對策實施狀況調ヲ四月以降三月毎ニ調製シ  
其ノ翌月二十日迄ニ經理局長ニ送付スルコト

(別紙添)

0130

(別紙)

契約價格對策實施狀況調

自昭和 年 月 日  
至昭和 年 月 日

計	値下		据置		値上		區別別
	件	%	件	%	件	%	
100%	件	%	件	%	件	%	契約件數
100%	圓	%	圓	%	圓	%	契約金額(A)
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	十七年三月以前最近ノ價格ニ依リタル場合ノ概算金額(B)
%	%	%	%	%	%	%	AノBニ對スル割合
							品目別概要

(備考)

- 一本實施狀況調ハ契約金額五萬圓以上ノ購買品ニ付調製ス
- 一品目別概況ハ値上及値下ニ割以上ノモノニ付其ノ品名ヲ掲記ス
- 一品目別ハ購買名簿分類項目ヲ準用ス
- 一昭和十七年三月末日以前一年以内ニ契約シタルコトナキモノノ契約金額ハ据置ノ項ニ掲記ス

物價對策、物品稅

一三三

0131

物價對策、物品稅

一一四

0132

## ○ 契約價格對策ニ關スル件

昭和十七年四月六日官房機密第四二三  
八號海軍次官ヨリ關係各廳長宛通牒

昭和十四年度以來ノ契約價格ニ關シテハ夫々通牒ノ趣旨ニ基キ關係官多大ノ努力ニ依リ極メテ好成績ヲ收メ一般物價政策ノ實施ニ寄與スル所尠カラズト認メ居候處今後大東亞戰爭ノ進展ニ伴ヒ軍需品ノ需要ハ愈々激増スベキニ拘ラズ資材及勞力之ニ伴ハズ其ノ他諸般ノ情勢ヨリ觀テ物價騰貴ノ傾向ハ倍々其ノ度ヲ高ムベク若シ之ヲ其ノ成行ニ放任センカ我が戰時經濟ノ健全ナル運營ハ期シ難ク遂ニハ大東亞戰爭ノ完遂及大東亞建設ノ大事業ヲモ阻害スルニ至ルベキヲ以テ低物價政策ハ今後益々之ヲ堅持スベキハ勿論ナルモ他面生産増強ノ爲價格處理上特別ノ考慮ヲ拂フコトモ亦必要ノコトト認メラレ候ニ付テハ今後海軍ニ於ケル契約價格ノ處理ニ關シテハ其ノ邊可然勘考ノ上適當ニ善處方取計相成度  
追テ實施ノ詳細ニ關シテハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシメラルベク候

物價對策、物品稅

一一六

---

0134

---

○ 契約價格對策實施狀況調製ニ關スル件

昭和十七年四月十五日經物第七四號經理  
局第二課長ヨリ佐總理部第二課長宛照會

經物機密第五號通牒第五號ニ依リ調製スベキ首題調書中品目別概況ハ左記ニ依リ掲記ノコ  
トニ取計相成度

記

一、品目別ハ様式備考ノ通購買名簿ノ分類項目ニ準ジ類別ヲ掲ゲ其ノ下ニ當該品目ヲ掲記  
スルコト

要スレバ當該欄ヲ別紙トシ値上下値下ニ大別シ前項ニ依ルコト

二、前號ノ品目中生産増強ノ爲價格處理上特別ノ考慮ヲ拂ヒタルモノアルトキハ更ニ契約  
年月日、品名、數量、價格、特別ノ考慮ヲ拂ヒタル事由ノ詳細、特別ノ考慮ヲ拂ヒタ  
ル額、其ノ算定ノ基礎、契約者及其ノ他ノ參考事項等ヲ記載シタル調書ヲ添付スルコ  
ト

物價對策、物品稅



物價對策、物品稅

---

一一八

0136

---

○ 物品税ノ取扱ニ關スル件

昭和十七年九月十六日佐經二調第八三號佐  
世保海軍經理部第二課長ヨリ關係各廳契約  
擔任官宛依命通知

百題ニ關シテハ客年十二月十日佐經二調第六四號ヲ以テ參考通知置キ候處爾今左記ニ依リ  
可然處理相成度尙免稅手續ニ關シテハ軍需用ニ名ヲ藉リ故意ニ脫稅ヲ圖リ一般市場へ流出  
セル事例モ有之哉ニテ財務當局ノ注意モアルニ付特ニ勵行相成様致度

記

一、免稅手續

(イ) 第二項甲ノ場合ハ各契約擔任官ヨリ夫々免稅規定ニ該當ノ用途ニ供用ノ爲購入セル

旨ノ證明書ヲ納入者(受註者)ニ交付ヲ要ス(物品税法第十三條第二項)

(ロ) 第二項乙ノ場合ハ夫々別紙記載ノ各規定ニ基キ關係部隊長等ノ證明書ヲ必要トス(別

紙大藏省内規類参照)

二、海軍ノ購買品ニ對シ物品税ヲ免除セララルル範圍

(甲) 一般的规定ニ依ルモノ

(イ) 物品税法施行規則別表「課稅物品表」ニ於テ特ニ免除ノ指定アル物品

(ロ) 物品税法第十二條ノ規定ニ該當ノ物品(政府ノ承認ヲ受ケテ製造場ヨリ移出シ又

物價對策、物品税

物價對策、物品稅

ハ保稅地域ヨリ引取ル物品……詳細ハ同條參照)

(ハ) 物品稅法第十三條第一項第一號(輸出スルモノ)及第二號(學術研究用ニ供スルモノ)ニ該當ノ物品

(ニ) 物品稅法施行規則第二十六條ノ規定ニ該當ノ物品

(1) 醫療用品 (2) 機械用品又ハ工業用品 (3) 社寺教會ノ式典用又ハ禮拜用品 (4) 教育用品 (5) 軍用ニ供スル物品 (6) 通信用ニ供スル物品等ナルガ其ノ詳細ハ同條

參照ノコト

(註 一)

(2) ノ工業用品ニハ工作廳ノ工業用品ヲ含ミ棚類、箱類等ノ如キ物品ニテモ海軍ノ作業場ニ專用セラルルモノ(事務用以外ニ使用セラルルモノ)ハ昭和十六年佐經二調第六四號ノ別紙應答記載ノ通免稅ノ取扱ヲ受クルモノトス

(註 二)

免稅範圍ニ關スル用語ノ定義(昭一五、三月主密第四八號大藏省解釋)

(イ) 「學術研究用ニ供スルモノ」トハ專門學校以上ノ學校(陸海軍大學校、陸軍士官學校、海軍兵學校等ヲ含ム)ニ於テ學術研究ノ用ニ供スル物品

(ロ) 「醫療用ニ供スルモノ」トハ醫師及產婆、鍼灸者等醫師ニ進ズル者ガ醫療用ニ供

スル物品ニシテ物品自体が醫療用品ナルコトヲ認定シタルモノ

- (ハ)「機械用又ハ工業用ニ供スルモノ」トハ物品ガ機械ノ一部分トシテ使用セラルル場合ハ機械用トシ、物品自体ガ他ノ物品ノ生産工業用ニ供セラルル場合ハ之ヲ工業用トス

(乙)大藏省内ノ特別取扱規定ニ依ルモノ

軍需品ニ對シテハ右ノ外特ニ左ノ如キ免除ニ關スル大藏省内特別取扱ノ規定アリ適用處理ノコト

(イ)昭一六、一二、一主秘第七九〇號

帶劍用バンド、傷痍軍人用杖、細川紙類(詳細ハ別紙掲記ノ全文参照ヲ要ス以下

同ジ)

(ロ)昭一六、一二、九藏稅第四四五六號

中間業者ノ手ヲ經ル等ノ事情ニテ製造者ニ於テ免稅承認ヲ受クルコト困難ノ物品

(ハ)昭一六、一二、二六主秘第八三七號

電球、在郷軍人以外ノ軍人ノ購入スル雙眼鏡、拳銃及水筒

(ニ)昭一七、一、一六藏稅第一一四號

陸軍需品廠ニ於テ陸軍需品トシテ購買スル物品ノ一部(輸出セララルコト明ナル

物價對策、物品稅

一一一

0139

物價對策、物品稅

モノ

(ホ) 昭十七、二、六藏稅第三六四號

陸海軍空廠註文ノ「ネオン」管、陸軍兵器廠註文ノ「電球」及水路部購入ノ海圖用紙

(ヘ) 昭一七、三、一〇藏稅第六七九號

陸軍被服本廠註文ノ「スキー」

(ト) 昭一六、四、一一藏稅第一〇四五號

艦船、自動車其ノ他兵器用ノ板硝子

(チ) 昭一七、四、二二藏稅第一一四八號

軍發註ノ時計

(リ) 昭一七、四、二五藏稅第一一七〇號

借行社、軍人會館、水交社又ハ海友社ガ軍裝品トシテ販賣スル(1)帽子、(2)背囊、圖囊、トランク類 (3)皮革製ゲートル、(4)靴、(5)軍制式ノ被服類及之ガ地質材料、(6)毛布、國防色ワイシャツ、國防色手袋軍用靴下、軍用襦袢及袴下

(ヌ) 昭一七、七、一三藏稅第二一四七號

(1)艦艇ニ裝備ノ第一種又ハ第二種ノ物品

(2) 兵器、彈藥格納用ノ箱類、棚類及鞆類

(3) 兵器タル照明器具

(ル) 大藏省主税局管下ヘノ通牒(昭一七、一、一五海軍省契約部情報普第十四號参照)  
艦船用電球

「軍ノ註文ニ依リ軍ニ於テ特殊ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ製造スル電球ニシテ一般ニ販賣セラレザルモノニ對シテハ課税セザルコトニ取扱フモノトス」

(別紙添)

(別紙)

(イ) 昭和十六年十二月一日附主秘第七九〇號

一、帶劍用ノバンドニ對シテハ強ヒテ物品税ヲ課セザルコト

二、専ラ傷痕軍人ノ使用スル杖ハ杖トシテ取扱ハザルコト

三、専ラ砲彈ニ用フル細川紙ノ類ハ強ヒテ物品税ヲ課セザルコト

(ロ) 昭和十六年十二月九日附藏税第四四五六號

軍用ニ供スル物品ヲ中間業者ノ手ヲ經ル等ノ事情ニ依リ製造業者ニ於テ特殊用途  
免税承認ヲ受クルコト困難ナル場合ハ製造者ト中間業者トノ間ニ未納税移出承認  
ヲ與フルモ差支ナキコト

物價對策、物品税

一一三

0141

(ハ) 昭和十六年十二月二十六日附主秘第八三七號

一、軍ノ註文ニ依リ軍ニ於テ特殊ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ製造シタル電球ニ對シテハ物品稅ヲ課セザルコト

二、軍人(在郷軍人ヲ除ク)ノ購入スル雙眼鏡、拳銃及水筒ニシテ部隊長ノ證明ニ依リ軍裝品タルコト明カナルモノニ對シテハ物品稅ヲ課セザルコト

(ニ) 昭和十七年一月十六日附藏稅第一一四號

陸軍需品廠ニ於テ陸軍需品トシテ購買スル第一種、第二種又ハ第三種ノ物品中輸出セラルルコト明カナルモノニ對シテハ一旦需品廠倉庫ニ庫入後輸出スルモノニ對シテモ輸出免稅ノ取扱ヲ爲スコト尙其ノ輸出シタルコトノ證明ニ付テハ便宜ノ取扱ヲ認ム

(ホ) 昭和十七年二月六日附藏稅第三六四號

一、陸海軍航空廠ノ註文ニ依リ其ノ指定アル仕様書(圖面ヲ含ム)ニ基キ製造シタルネオン管ニシテ納入先軍部ノ證明ニ依リ航空機ノ夜間着陸指導裝置用ニ使用セラルルコト明カナルモノニ對シテハ物品稅ヲ課セザルコト

二、陸軍兵器廠ノ註文ニ依リ其ノ指定アル仕様書(圖面ヲ含ム)ニ基キ製造シタル電球ニシテ納入先軍部ノ證明ニ依リ兵器用ナルコト明カナルモノニ對シテ

ハ物品税ヲ課セザルコト

三、海軍水路部ニ於テ製造者ヨリ直接購入スル海圖用紙ニ對シテハ物品税ヲ課セザルコト

(ヘ) 昭和十七年三月十日附藏税第六七九號

陸軍被服本廠ノ發註ニ依リ其ノ指定セル仕様書ニ基キ製造シタルスキーニシテ同廠ノ購入證明ニ依リ軍用ニ供スルコト明カナルモノニ對シテハ物品税ヲ課セザルコト

(ト) 昭和十七年四月十一日附藏税第一〇四五號

艦船、自動車其ノ他兵器ニ用ヒラルルコト明カナル板硝子ニシテ軍ニ納入スルモノニ付テハ納入先軍部ノ用途證明ヲ徴シ物品税ヲ課セザルコト

(チ) 昭和十七年四月二十一日附藏税第一一四八號

軍ノ發註ニ依リ其ノ指定セル仕様書(圖面ヲ含ム)ニ基キ製造シタル時計ニ對シテハ納入先軍部ヨリ兵器トシテ購入セルモノナルコトノ證明アルモノニ限り物品税ヲ課セザルコト

(リ) 昭和十七年四月二十五日附藏税第一一七〇號

借行社、軍人會館、水交社又ハ海友社ガ將校(准士官及候補生ヲ含ム)及從軍文

物價對策、物品税



物價對策、物品稅

一一六

官ニ軍裝品トシテ販賣スル(一)帽子、(二)背囊、圖囊、トランク類及行李、(三)皮革製  
ゲートル、(四)靴、(五)軍制式ノ被服類及之ガ地質材料、(六)毛布、國防色ワイシャツ、  
國防色手袋、軍用靴下、軍用襦袢及袴下ニ對シテハ所屬部隊長ノ證明ニ依リ軍裝  
タルコト明カナルモノニ限リ物品稅ヲ課セザルコト

(又)昭和十七年七月十三日附藏稅第二一四七號

軍ノ發註ニ依リ其ノ指定セル仕様書(圖面ヲ含ム)ニ基キ製造シタル左記ノ物品  
ニ對シテハ納入先軍部ノ購入證明書ヲ徵シ當分ノ間課稅セサルコトニ取扱フモノ  
トス

- (一)艦艇ニ裝備セララルル第一種又ハ第二種ノ物品ニシテ軍ノ用途證明アルモノ
- (二)兵器箱、彈藥箱等專ラ兵器及彈藥等ノ格納ニ用ヒラレル箱類、棚類及鞆類(ケ  
ースヲ含ム)
- (三)照明器具ニシテ兵器トシテ購入スルモノナルコトノ證明アルモノ

0144